

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 1月 9日 (木)

2 確認箇所

モニタリングポストNo.8 (MP-8)

3 確認項目

MP-8に係る大雨流入対策及び停電対策の状況

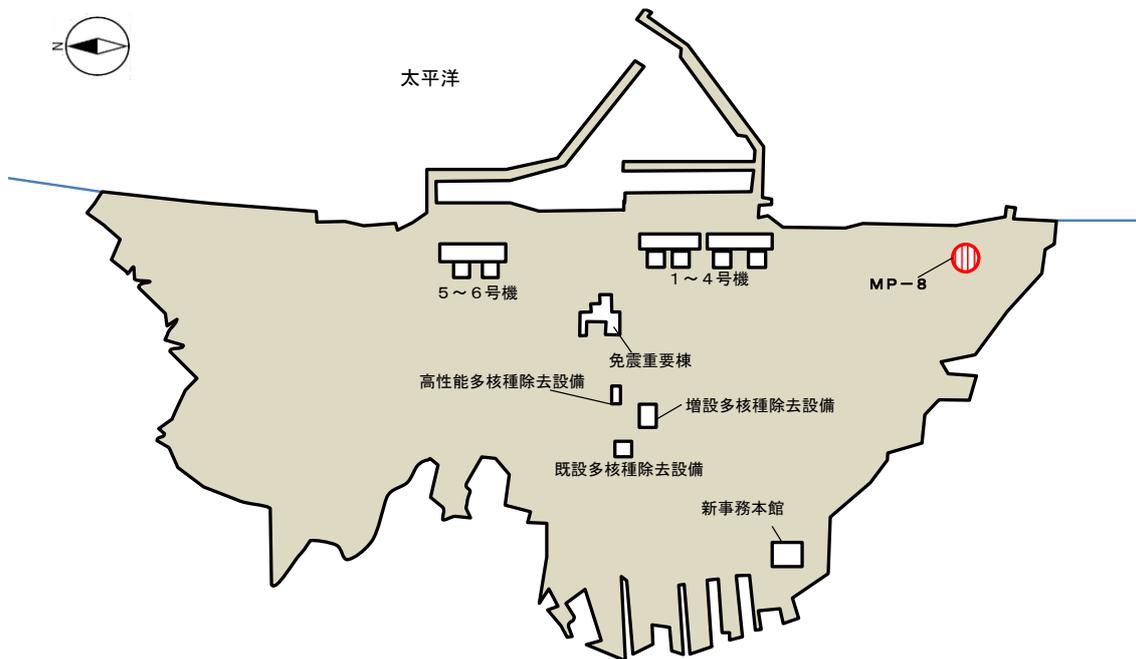
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所の敷地境界付近には、モニタリングポスト（以下「MP」という。）が8か所設置されている。今回は、これらMPのうち、敷地境界の最も南側に設置されているMP-8の設置状況について確認した。（前回確認：令和4年10月3日）

- ・MP-8は、敷地境界に設置しているMPの中で最も南側に位置し、旧展望台の麓に低線量及び高線量計測装置が設置された局舎と連続ダストモニタ及び構内敷地境界ダストモニタ用の局舎とが併設されている。
- ・周辺の地面はコンクリート又はアスファルトで舗装されていた。また、南西側には松林などからの放射線の影響を受けやすい状況であることから、MP-7と同様に放射線検出器は、鉄板の間にコンクリートを打設した遮へい壁で囲われていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、MPに設置された放射線検出器やダストモニタ吸引口等の外観に異常は確認されなかった。（写真2）
- ・なお、MP-8近傍においては、旧展望台からの雨水流入が近年の雨量増大に伴って頻発しており、令和4年5月の大雨では、局舎内に雨が流入して隣接のダストモニタが停止するトラブルも生じていた。

このため、局舎内への雨水浸入を防止するためにドア入口部分に高さ約200mmの防水堤を設置したことを確認した。（写真3）

さらに、（旧展望台が伐採木の一時保管施設として整備されたことによって、防草シートから雨水が窪地に設置された局舎へ直接流れ込まないよう）雨水流入対策として暗渠による調整池への導水管埋設や敷地外への排水溝設置などが行われたことを確認した。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
MP-8の外観
(南西側から撮影)



(写真2-1)
遮へい壁内側に設置された放射線
検出器



(写真 2 - 2)
敷地境界ダストモニタ吸引口
(A系) (局舎南東側に設置)



(写真 2 - 3)
敷地境界ダストモニタ吸引口
(B系) 及び連続ダストモニタ
吸引口 (局舎北西側に設置)



(写真 3)
雨水浸入防止のため、ドア入口部分
に防水堤(H=200mm)を設置。



(写真 4)
局舎周辺の雨水排水用の暗渠
(白コンクリートの下部に設置)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。